

事業実績書

団体名

名田島自治会連合会

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地域住民及び各種団体が連携・協力して、第4次名田島地区協働まちづくり計画を推進します。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	名田島の情報を共有し、良さをアピール		
	事業名	名田島のPR事業	決算額	587,363円
②	視点	名田島に新しい魅力を創出し、地区内外に発信		
	事業名	名田島地区フットパスの構築	決算額	0円
③	視点	自治会活動の活発化		
	事業名	一集落一事業	決算額	138,326円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)		自己評価
①年3回発行している広報紙「田園」については、地区内の行事や各団体の取り組みを取り上げ写真を多く掲載し、視覚に訴えるように編纂を行った。また、地区内のみならず、ホームページに「田園」をアップすることで地区外へも情報発信するように努めた。更にホームページを随時更新してのリアルタイムでの情報発信に努めた。今後は、一方的な情報提供ではない、読者からの投稿を呼び掛け、読んで見て興味がもてるような広報紙づくりに努めていきたい。		○
②高齢化及び人口減少に歯止めをかける為、交流人口の増加を目指して、既存の2コースに加え新たに「新開作・昭和コース」を設定するために、試し歩きを行い、次年度に向けて作成の目途がたった。令和7年3月2日開催の既存の「向山コース」イベントを企画し、名田島地区外の山口市民を対象に市報で参加者を募集し、定員の25名を超える希望者があったが、残念ながら悪天候のため中止となった。		×
③単位自治会が行う自主活動に対して経費の一部を助成する事業について本年度は新たに1集落が取り組んだ。この事業を実施することで伝統行事の継承につながり、実施にあたり、検討、協議することを通じて集落内の連帯感が深まった。今後は、未実施集落の取り組み促進のため事業の周知を図りたい。		○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

本年度からスタートした「第4次名田島地区協働のまちづくり計画」は、第3次計画の活動目標と活動内容を大幅に見直し、さらに住民アンケートも実施して地域課題を再確認の上、具体的な活動内容は喫緊の課題を中心に取り上げて精選して作成したものである。令和6年度は、第3次計画からの継続事業を中心に実施したほか、市の定住促進事業の推進にも協力した。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に変更され、令和6年度は、ほぼコロナ以前の実施内容で事業を行うことができた。「地区民体育大会」は「名田島田園運動会」と改称して再開できた。夏以降に開催した「名田島ちようちんちょこまつり」と「ふるさとまつり」も予想を超える多くの参加者を得ることができた。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	3,733,696円
事務局的 運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名、事務員2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 円滑な事務局運営ができた。 (今後に向けて) 各委員・各種団体・地域の方々と一層の連携を深め、情報交換や交流を行い、令和6年度からの第4次名田島地区協働のまちづくり計画の推進に寄与したい。

(2) 地域振興

事業名	一集落一事業
事業費	138,326円
事業概要	(実施内容) 単位自治会の行う自主的な活動に対して、その経費の一部を助成する。 (実施時期) 7月～3月 (参加人数) 8集落自治会 (成果) 集落における連帯感が生まれた。 (評価) 伝統行事等を通じて次世代に伝える事業が展開された。 (今後に向けて) 各集落自治会の事業促進を継続して図りたい。

事業名	広報活動
事業費	587,363円
事業概要	(実施内容) ①総会資料 ②広報紙「田園」 ③「自治会連合会だより」による会議等の結果報告 ④ホームページの拡充・フェイスブックの定期的な更新 ⑤iPadを活用して名田島の姿をPR (実施時期) ①4月 ②年3回(8月、12月、3月) ③毎月1回 ④⑤随時 (参加人数) 地区内外多数 (成果) ①～③全世帯配付(約500戸) ④随時更新 ⑤随時使用 (評価) ①～③自治会連合会の活動状況を地区民に周知し情報共有に努めた。④⑤ホームページの拡充を図ると共に、フェイスブックにより地域のイベントや映えスポットをリアルタイムに発信し閲覧者の拡大に努めた。 (今後に向けて) 更なる内容の充実に努め情報発信を図りたい。

事業名	イベント補助
事業費	594,424円
事業概要	(実施内容) ①名田島田園運動会 ②ちょうちんちょこつとまつり ③ふるさとまつり (実施時期) ①4月28日 ②7月20日 ③11月24日 (参加人数) ①約400人 ②約500人 ③約900人 (成果) ①競技内容を変更して5年ぶりに開催され、地区民のふれあいの場となった。②③昨年に引き続き開催され、地区外からの参加者も多く、交流人口の増加につながった。 (評価) ①②③運営スタッフ的確な動きの中でスムーズに運営された。

事業名	第4次計画推進費
事業費	187,460円
事業概要	(実施内容) ①フットパス「新開作・昭和コース」の新設に向けての試し歩きを実施 ②フットパス「向山コース」のイベント開催 (実施時期) ①12月8日 ②3月2日 (参加人数) ①生涯学習部会員 ②0人 (成果) ①アピールできる風景等、コース上の危険箇所等確認ができた。②雨天悪天候のため中止、後日、参加者へパンフレットを送付、次回の参加を文書で呼びかける (評価) ①パンフレット作成に向けて、問題点等整理ができた。②市報を活用しての参加者募集について、名田島以外の山口市民に呼びかけ25人の定員を超える希望者があった。 (今後に向けて)①6年度の取り組みをもとに「新開作・昭和コース」新設に取り組みたい。②既存の2コースのイベント開催に努める。

(3) 地域福祉

事業名	健康増進活動事業
事業費	300,998円
事業概要	(実施内容) ①健康相談会 ②健康チャレンジウォーキング ③地域版チャレンジデー2024 ④料理教室 (実施時期) ①5～3月 ②5月29日・11月6日 ③8月24日 ④2月27日 (参加人数) ①13集落 ②16人・28人 ③210人 ④12人 (成果) ①あらためて個人個人が健康について関心を持てた事に加え、集落住民同士のふれあいの場となった。②野外活動を通して、心身共にリフレッシュする機会となった。③地区民の年代を超えたふれあいの場となった。④食を通して健康管理の意識が生まれた。 (評価) ①各集落の自治会長・民生委員・福祉員等が連携して取り組んだ。②楽しい交流の場となり、鋭気を養う事ができた。③ラジオ体操を媒体に参加者全員の一体感につながった。④健康を維持するための食事の大切さを学ぶ事ができた。 (今後に向けて) ①②③④関係機関、団体と調整を図り、事業を継続し交流の場を提供していきたい。

事業名	世代間交流事業
事業費	100,000円
事業概要	(実施内容) ①三世代交流新春合同事業 ②あるけあるけ大会 (実施時期) ①1月13日 ②3月15日 (参加人数) ①約170人 ②43人 (成果) ①どんど焼き、消防講習会、餅つきなどを通して世代間の交流が図られた。②参加者間で会話が弾んで笑顔が多く見られた。 (評価) ①各世代の交流の場となった。②参加者間でコミュニケーションが図られた。 (今後に向けて) ①新春の各世代間の交流行事として継承していく ②各世代の参加者があるような企画をしていく。

事業名	子ども健全育成事業補助
事業費	74,720円
事業概要	(実施内容) ①子ども見守り活動 ②中学生安全チョッキ購入 ③にこにこ学級 ④コミクラ活動 (実施時期) ①②③④通年 (参加人数) 対象者 (成果) 各種の助成等を通じて、元気な子供の健全育成に貢献できた。 (評価) 各種の助成活動を継続する事により、安心して通学できる環境が図られた。 (今後に向けて) 引き続き子供たちの健全育成の環境整備に努めたい。

(4)安心・安全

事業名	地域防災活動の推進
事業費	43,976円
事業概要	(実施内容) ①防災訓練の実施・避難情報伝達訓練 ②名田島地域津波避難シミュレーション説明会 ③防災資機材の備蓄と点検 (実施時期) ①8月24日 ②1月15日 ③通年 (参加人数) ①130人・454戸 ②20人 ③通年 (成果) ①今年も継続実施できた。②避難の困難さが確認出来た。③備蓄状況等の確認ができた。 (評価) ①避難訓練や講演会を通して防災意識の再確認ができた。②シミュレーション視聴することにより、津波発生時における避難に対する危機感が確認できた。③保管場所及び数量等の確認ができた。 (今後に向けて) ①防災意識向上のため引き続き防災訓練等を実施していく。②危機感を意識し、津波発生時の避難方法について個々人での対応を強化していく。③災害非常時に対応するため日常の点検と改善に努めていく。

事業名	交通安全対策事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) — (実施時期) 今年は、カーブミラー設置の申請は行われなかった。 (参加人数) — (成果) — (評価) — (今後に向けて) 周知を行い、危険箇所の解消に努めていく。

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	1,969,000円(内、581千円は、ソフト事業分から流用)
事業概要	(実施内容) 法定外公共物の整備 (実施時期) 令和6年12月～令和7年3月 (参加人数) 集落自治会が工事業者に発注 (成果) 水路(改修)2件 (評価) 水路の機能回復が図られた。 (今後に向けて) 今後も地域からの要望を受け対応していく。

事業名	地域環境づくり
事業費	27,800円
事業概要	(実施内容) ①有害鳥獣駆除 ②有害鳥獣捕獲等支援事業 ③生活環境事業 (実施時期) ①狩猟期間及び捕獲許可期間 ②通年 ③通年 (参加人数) ①②山口県吉南猟友会名田島支部2名 ③— (成果) ①山口県吉南猟友会名田島支部に捕獲器(箱なわ)10器を貸与し、また、山口市有害鳥獣捕獲対策協議会から鳥獣被害わな開閉探知システムの貸出を受けた結果、8頭のイノシシを捕獲した。②免許取得(更新)及び捕獲通信システム通信料の助成を行った。③地域からの申請は無かった。 (評価) ①農作物被害の低減と農地の保全及び耕作環境づくりの推進に寄与した。②経費の一部助成を行い、負担軽減が図られた。③— (今後に向けて) ①山口県吉南猟友会名田島支部と緊密に連絡調整を行い継続する。②狩猟免許助成等の周知を図り資格取得者の拡大を図りたい。③交付要領の周知を図りたい。

事業名	地域環境美化
事業費	150,516円
事業概要	(実施内容) ボランティアクラブとPTAが協働して児童や生徒通学路の草刈り等を実施 (実施時期) 5月、7月、11月 (参加人数) 5月(20人)、7月(24人)、11月(25人) (成果) 草刈り等により、見通しが良くなり、防犯・交通安全上にも効果があった。 (評価) 榎野川沿いと南若川沿いの通学路を定期的に清掃し、地域の環境美化につながっている。 (今後に向けて) 広報誌等を通じて新規会員の加入促進を図りたい。

(6) 地域個性創出

事業名	ふるさと大学の開講
事業費	12,547円
事業概要	(実施内容) 地元住民の講師による講演会を実施 (実施時期) 3月8日 (参加人数) 34人 (成果) 令和2年以来、5年ぶりに実施できた。 (評価) 事前受付以外に多くの参加者があり、地元の農業の歴史に触れることができた。 (今後に向けて) 今後も地元住民の講師を選定し、実施していきたい。

事業名	小学校芝生化グラウンド利用推進事業
事業費	98,174円
事業概要	(実施内容) 定期的な維持管理作業(芝刈り、施肥、散水、冬芝播種、砂入れ等)の実施 (実施時期) 通年 (参加人数) 370人 (成果) 芝生の維持管理作業が定着している。また、名田島小学校5・6年生による芝刈り体験の感触を楽しみ芝生化を再認識する機会となった。 (評価) 地域のボランティアで構成される名田島しばもり隊の努力により、適正に管理されており、良好な芝生のグラウンドを提供することができた。 (今後に向けて) しばもり隊員の新規加入の新規加入を図り、今後も適切な管理に努め、地域住民の交流の拠点となるよう更なる利活用を図っていきたい。